1月～2月（告知）のりた

時 開催時間　対 参加対象
所 開催場所　申 参加方法
¥ 参加費　持 持ち物
定 定員(選定方法)

1/18 土 まち育てスクール『大門の歴史がスゴイ』
～三河国の中心地、天下取りの道～

大門地区の歴史散策。足利尊氏の石宝塔（墓）がある「八剣神社」をはじめ、大円寺、三鹿の渡し跡などを巡ります。地域に詳しい大円寺住職による話が聞けます。

時 9:30～11:30
所 大門水郷公園駐車場（集合）
¥ 無料　定 20名程度
申 必要。直接または電話にて、なごみんへお申し込みください。

1/18 土 防災さんぽ
～ひなん所までの道を歩こう～

矢作地域の災害特性を学ぶ講座を開講します。やはぎかんから矢作東小学校までの避難経路を実際に歩き、注意すべきポイントを学びます。

時 9:30～12:30
所 やはぎかん（集合）
¥ 無料　定 15名(先着順)
持 飲み物　※歩きやすい服装でお越しください。
申 必要。直接または電話にて、やはぎかんへお申し込みください。

1/17～金 東部の“いいとこ”行っとこ！展

情報誌で取り上げた記事を中心に、岡崎東部地域の魅力ある史跡や名所を紹介する展示会。今年は新たに東部の寺院紹介コーナーも設ける予定です。

時 2/1(土)まで展示
所 むらさきかん西ギャラリー　¥ 無料
申 不要。直接会場にお越しください。

2/8 土 地域活動サミットin北部

「ボランティア・慰問で地域に出ていきたい」と考えている積極的な団体が集まり活動をPRすることで、町内会や慰問受入施設とのマッチングを目指します。同時に会員も募集しているので、なにか始めたいと考えている一般の方の参加も大歓迎です。

時 13:00～16:00
所 なごみん　ホール
¥ 無料
申 不要。当日、直接会場にお越しください。

2/11 火 まち育てスクール 羽根学区の町と道
～岡崎駅周辺の鉄道と道筋を巡る～

羽根学区のまち歩き。岡崎市文化財保護審議会委員の奥田敏春先生をガイドに迎え、羽根稲荷神社や第二尋常中学校講堂など、約3kmのコースを巡ります。

時 9:00～12:30
所 シビックセンター（集合）
¥ 無料　定 20名(抽選)
申 必要。1/7～1/31の間に、直接または電話にて、よりなんへお申し込みください。

2/23 日 5周年 2020（にーまるにーまる）ゆきフェスタ

周年記念イベントとして開催される、市民活動団体や個人の成果発表の場。楽器演奏やダンス、マジックなどのステージや、作品や活動内容の展示などが行われます。雑貨や食品の販売もあります

時 10:00～15:00(オープニング 9:40)
所 悠紀の里　全館
¥ 無料(一部有料)
申 不要。当日、直接会場にお越しください。

NEWS

＼QURUWAのまちづくりに関心のある企業向けのシンポジウムです／

QURUWA新章突入
ーあなたはどこに点を打つ？ー

乙川リバーフロント地区の整備が大詰めを迎え、まちの風景が変わってきたQURUWA。公民連携で進めるまちづくりの舞台が整い、いよいよこれから、民間ならではの視点、アイディアで魅力的な暮らしを描き、その暮らしを実現する新しい切り口の事業やプロジェクトを仕掛ける段階に突入します。QURUWAでこれから何が起こるのかを解説し、事業者はどのような関わり方ができるのか、それによって市民の暮らしはどう変わるのか、専門家を交えて探ります。

[時]2020年2月1日（土）14:00-16:30
[所]岡崎市福祉会館6Fホール
[¥]無料
[定]200名（申込先着）
[申]右のQRコードよりお申し込みください。

お問合せ		よりなん	59－3600	むらさきかん	66－3066	市民活動センター	23－3114
なごみん	66－8251	やはぎかん	33－3665	悠紀の里	57－5050	まち育て推進チーム	23－2888

まちのミカタ Litaracy
2020.01 vol.101

発行・編集
特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた
〒444-0031　愛知県岡崎市梅園町3丁目6-6
TEL（0564）23-2888／FAX（0564）23-2898
http://www.okazaki-lita.com/
https://www.facebook.com/okazaki.lita/

配布
岡崎市図書館交流プラザ・Libra／岡崎市内の地域交流センター会員宛へ郵送　等　※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力
岡崎市役所各支所／岡崎市各市民センター／シビックセンター／FMおかざき／杉くんの駄菓子屋／angelshare／松應寺／cafeくらがり／

特集 りぶら周辺を日常的な遊びや活動で満たす

岡崎市図書館交流プラザ・りぶらは、岡崎市が「生涯学習の拠点施設」「中心市街地の再活性化拠点施設」の二つの使命を掲げて整備した公共施設です。年間140万人を超える来館者があるなど、国内屈指の文化複合施設として高い評価を受けるりぶら（詳細は、りたらしい95号を参照）に対し、りたは、その計画や運営に参画する市民の支援をするなど、深い関わりをもってきました。

りぶらは連日館内がにぎわっているものの、中心市街地のにぎわいに寄与しているとまでは言えません。春祭りや秋祭り等の大型イベントの際にりぶらと岡崎公園と籠田公園が回遊されることはあっても、日常的には家とりぶらの往復で終わってしまう利用者がほとんどです。りたがこうした課題意識を感じていたのと同時期に、岡崎市が中心市街地の暮らしの質やエリアの価値を向上させる「Quruwa戦略」を策定しました。りたは、この計画の中で回遊性活性化拠点（車などで中心市街地にアクセスする際の起点）の一つとして改めてりぶらが位置づけられたことを好機ととらえ、市とも協議した結果、「りぶらタスクフォース」の企画として、りぶら周辺の活用促進、活性化に取り組むことになりました。本号は、その二つの企画（りぶらと遊ぼうプロジェクト、QURUWA菜園inりぶら）を紹介します。

特集

りぶら周辺を日常的な遊びや活動で満たす

りぶらと遊ぼうプロジェクト ～りぶらは子連れに格好の環境～

タスクフォースを企画している頃、市内のNPOが集う情報交換会にて担当者の三矢は、猪飼さん（多世代型子育てひろば「和っ家」主宰、保育士）と出会いました。その彼女から「りぶらには乳幼児室やこども図書室もあり、子連れの利用が結構あるけど、来てそのまま帰ってしまう。西に出れば小さい子どもでも安心して遊べるせせらぎ（伊賀川）もあるし、少し足を延ばせば岡崎公園もある。子連れには格好の環境なのに」との発言がありました。そこで「これは、子連れの方々にりぶら周辺を活用いただくチャンス！」と考え、猪飼さんの思いをイラスト（図1）にしてチラシを作成し、共感者を集める支援をしました。

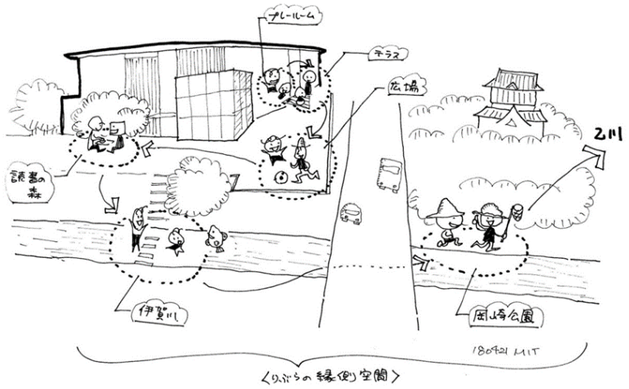

図1：りぶら周辺の遊び方イメージ（猪飼さん提案を三矢がイラスト化）

▲りぶらとその周辺を遊ぶMAPの作成風景

その後、まちづくりに関心をもつお母さんらが仲間となり「りぶらと遊ぼうプロジェクト」が発足。彼女たちの呼びかけで春夏秋冬に各1回ずつ遊びの会を開催したところ、毎回10組程度の母子の方々が参加してくれました。遊びの会では、りぶらを起点に2時間程度で遊んで帰ってこられるルートを主催者側でつくり、これに基づいて遊んでいただきました。これらの記録をまとめて「親子で楽しむ！りぶらとまわりのあそびかた」MAPを作成、配布しました。利用者から大変好評をいただいています。

QURUWA菜園 in りぶら ～コミュニティ菜園を軸にした場づくり～

このプロジェクトでは、岡崎市のまちなかにコミュニティ菜園を作り、野菜やハーブの栽培を通じて、人と自然、人と人がゆるやかに「繋がり」「学び」「交流」し、自然の恵みやいのちの豊かさ、人とのふれあいを感じてもらう場づくりを目指しています。

りたは、「りぶらタスクフォース」に対し、にぎわいの場としての「コミュニティ菜園」を提案し、事務局と協働コーディネーターを兼務して運営を担当しました。協働の体制は、“菜園都市おかざき”のビジョンを掲げる「NPO法人おかざき農遊会」が仮設圃場の設置や野菜づくりの講師を担当。おとがワンダーランドでの朝市や、2018年の社会実験「Meguru Quruwa」（りたらしい90号参照）で、まちなかプランター菜園を出展した経験などを発揮してもらいました。また活動に賛同する個人や任意団体の方が情報発信や連携企画（青空教室）を担当。子育て世代を中心とした若い世代に効果的な広報ができました。

初年度の試みとして、りぶら敷地内の南西にある砂地部分に仮設のプランター菜園（QURUWA菜園 in りぶら）を設置し、9月15日にオープン。以降、毎週日曜日（12月からは隔週日曜日）に野菜づくり体験日を10回（12月末時点）開催しました。加えて、木工WSや種の交換会、正月飾りづくりなどの青空教室を4回、11月9日には収穫祭も開催。定期的に体験に参加するリピーターの姿も見られるようになりました。【延べ 328名参加】

また、菜園での取り組みは、中央図書館と連携した図書企画展示、愛知学泉大学 家政学部との授業連携、10月8日～11月8日に東康生通りで開催された「グッとくるわ社会実験」との連携、社会実験終了後の商店街との連携など、広がりを見せています。

▲青空教室（廃材を使ってプランターカバーを作ろう）

Facebook、Instagramで情報発信中
「Quruwa菜園」で検索！

11月～12月（報告）のりた

まち育て推進チーム 11/9

おとがワ！ンダーランド2019 川ぐらし

乙川の持つ価値を見出し、共有することで、川とくらしの関係を結び直す事業。乙川上流の水源地・額田の山の木材、平成の名水百選にも選ばれた湧き水、乙川の水で育てられたお米、上下流を往来する鮎、東京の星付きレストランからも評価されているジビエなど、乙川がつなぐ地域の恵みや営みが感じられる飲食や体験のプログラムが集結し、川がくらしにもたらす豊かさを山間地とまちなかで分かち合う貴重な場となりました。【約500名】

市民活動センター 11/9・17

まち育てスクール りぶらスタディツアーズ2019

りぶらと周辺のまち歩きを通じ、まちへの愛着増進や市民活動の促進を目指す企画。今回は、りぶらの「本の管理」や「仕分け方法」などの図書館見学ツアーや“多様な個人が尊重される地域づくり”を目指して活動する「NPO法人コネクトスポット」と連携してワークショップを実施。図書館見学では、「ハイテク化にびっくりしました！」ワークショップでは、「自分の短所が他の人から見れば長所だと分かって気持ちを整理できた」などの感想が聞かれました。【計25名参加】

まち育て推進チーム 11/16・12/1

岡崎市シティープロモーション活動促進支援業務 おかざきカメラがっこう まち編・さと編

11/16のまち編では歴史や文化をメインに康生周辺を散策。12/1のさと編では駒立の農家さんとごはんを作るなど、実際にまちへ出て出会った人を撮影しました。【34名参加】※「#岡崎カメラがっこう」で検索

むらさきかん 11/23

まち育てスクール 秋の山中城址を歩く

東部地域の魅力を発見するまち歩き。県下最大級の山城である山中城址と、歴史あふれる山中八幡宮など10kmのコースを、山中城址保存会などの地元ガイドの解説付きで巡りました。【19名参加】

悠紀の里 11/24

まち育てスクール まち歩きを考えるワークショップ

六ツ美南部小学校では「六ツ南カルタ」を2010年に作成し、所縁の場所を歩く「六ツ南カルタウォーキング」も地域主体で開催されてきました。「8年を経てマンネリ化したため、企画見直しに向けて支援をして欲しい」という要望が地域からあり、新しいウォーキング企画を考えるワークショップを開催しました。【20名参加】

やはぎかん 11/30

やはぎ大楽 クリスマスリースの飾りつけをしよう

市民活動の啓発のため、団体に活動の場を提供する事業。今回は、精神障がい者の就労支援を行う 、社会福祉法人せきれい彩（さい）が講師を務めました。【15名参加】

なごみん 12/7

おかぶらinなごみん ふるさとを語り継ぐ ～岩津の昔といま、そして未来へ～”

市民活動団体の情報交換や学びの場。『岩津風土記』や『岩津八景』の著者、兵藤進一氏を招き、岩津の地域づくりについての講演や意見交換を実施しました。【総来場者数68名】

市民活動支援チーム 12/13

伝わる情報って何だろう？ 広報（Public Relation）の本質を学ぶ1Day講座

市民活動の課題とされる広報について学ぶ講座。PRプランナーである、米山哲司氏を講師に招き、広報の本質的な内容から、情報化社会における情報発信のコツなどについて、グループワークを交えながら学びました。【58名参加】